

2022年11月1日

神戸市北区長
金本 忠義 様
神戸市北神担当区長
柏木 和馬 様

神戸市職員労働組合
北支部長 藤原 悦代

2023年度 勤務労働環境改善に関する要望

日ごろは、職員の福利厚生・勤務条件の向上にご尽力をいただいておりますことを感謝申し上げます。さて、以下の通り2023年度要望を取りまとめましたので、提出いたします。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は3年目に入り、私たちの日常生活や社会生活、職場においても大きな影響が生じました。

保健所では、職員も感染リスクを背負いながら、ほんとうに必死で毎日の業務をこなしています。増員や応援体制を取っても、保健師の労働環境は非常に厳しいままで、感染拡大が収まりを見せたかと思えば、あらたな変異株の感染が始まり、なかなか収束の出口が見いだせない状況が続いています。

電子化が浸透し、世の中ではパソコンやスマートフォンによる電子申請が主流になっていますが、まだまだ来庁による申請の種類は多く、ましてや区役所業務の中核である相談業務はマンパワーに頼らざるを得ません。

より身近な区役所が、困難な状況の中でも市民生活を守り、市民から信頼される行政の核としての機能を充実させ、また職員が安心して健康で働き続けられることが重要であると考えていますので、真摯に受け止めていただき、実現・改善に向けて努力いただきますよう、よろしく願いいたします。

1. 昨年、令和3（2021）年10月に北神区役所の民間委託の導入が本格化され、令和3（2021）年10月には市民課業務、令和4（2022）年10月からは、保険年金医療課業務でも民間委託が導入されました。市民の待ち時間が長くなり、派遣職員の途中退職が相次ぐなど、スムーズに移行しているとは言えない状況です。このまま職員のフォロー体制がなくなれば、たちまち立ち行かなくなることは目に見えています。北神の職場スペースも手狭で、そのような中、パソコン職員が最大19名（10月25日現在は16名）派遣され、より劣悪な状況になっています。今後、各区に拡大の予定ですが、現状の問題点を速やかに解決し、今後も安定的で長期的な市民サービスを提供できる体制について、職員意見を聞き、委託業者との調整についても修正すべきは速やかに修正を行っていただきたい。また、業務の基礎的な研修については、本庁で一括して行い、職場での研修負担を軽減すること。
2. 感染症対策について、職員が安心して市民応対ができるよう、職場スペース・休憩スペースに感染対策を継続すること。また、来庁者に対してマスク着用を促すよう庁内放送やポスター掲示など注意喚起を行っていただきたい。また、消毒液の設置を各窓口に配備していただきたい

(特に6階からの要望)。

3. 今後の新型コロナウイルス感染症の拡大に備えて、各課において市民来庁を少なくする対策を講じること(郵送やネット申請など)。
4. 電話交換業務について、各職場からは単純な繋ぎ間違いや市民からの問い合わせの内容把握が十分でないための繋ぎ間違いが多いとの指摘が多数寄せられています。代表電話から繋がれた電話を、もう一度、代表電話にコールバックできるシステムにして欲しい。
5. 職場の電話機について、ナンバーディスプレイ型の電話機に交換すること。
6. 新型コロナウイルス感染症の拡大以降、緊急事態宣言が出される中で、区役所の職場でもフレックスタイムや在宅勤務が導入されている。フレックスタイムによる勤務時間内については、空調を柔軟な対応を取っていただいているが、認識していない職場もあり、職場周知の徹底をして欲しい。
7. 本区6階について、休憩スペースがないため、昼食も自席で取ったり、昼休みに休憩できる場所がないため、休憩スペースを確保していただきたい。
8. 本庁舎のトイレの手洗い場について、蛇口の感度の反応が遅く、水量が少ないので改善していただきたい。また、トイレ便座用の消毒液を設置していただきたい。
9. マイナンバーカードの普及に伴い市民課では市民来庁や電話での問い合わせが増加している。市民が区役所に来なくても手続きができるよう国や市に働きかけること。特に5年の電子証明書の有効期限については、マイナンバーカードの有効期限と同じ10年とするようにすることや暗証番号の再設定については各自のパソコンでできるように国に要望していただきたい。また、制度的な質問は電話交換の時点で、サポートセンターを案内してほしい。
10. 会計年度職員、再任用職員の労働条件を引き上げること。会計年度職員については、①以前のような職員証を交付すること②無給となっている病気休暇等についても、職員と同様に有給とすること。③夏季休暇について会計年度の特定事務職員は半日単位での取得ができないため、時間休暇で取得できる運用としてほしい。
11. 災害時の避難所運営について、全庁的な研修の実施など、いざという時に対応できるようにすること。また、区役所では窓口業務も並行して行う必要があり、防災指令発令時の体制について、他部局からの応援拡充なども含め、抜本的な改善を行うこと。また、防災指令発令時には、木曜日の時間延長については、中止とすること(商業施設では、前日から時間短縮や閉鎖などのPRがある)。
12. 制度変更や新規事業の実施により、業務量が増大している職場の改善を行うこと。(コロナの関係で税の申告時期が延長になったことに伴う事務量の増加、コロナ関連の業務の増加など)
13. 選挙事務について、区役所職員が選挙管理委員に併任発令されたが、窓口職場が多いため、なかなか併任で事務ができない。税職場が集約化され今後委託化が進むにあたり、区役所だけで事務を回すには限界がある。市全体として、責任を持った体制を構築すること。
14. 通勤手当における交通用具利用者の勤務不便公署の認定について、「勤務公署から最寄り駅までの距離が2km以上ある公署」との規定について、公共交通機関の本数など実態に見合ったものにする事。
15. 北神区役所との事務分掌について、保護事務の支払い関係を本区で担っているため、煩雑な事

務になっている。検討していただきたい。

16. 各出張所について、築年数がかなり経過していることから老朽化が進んでいる。さらにコロナ感染症の拡大に伴い、トイレの手洗い所についても自動栓にするなど改善すること。また、照明器具をLED照明に交換すること。職員の意見を聞き市民にとっても安心できる庁舎となるよう改善すること。
17. 事務用パソコンについて、増設すること。
18. Wi-Fi環境を庁舎内に取り入れてほしい（北区総合庁舎・北神区役所）。北区以降建設の庁舎ではWi-Fi環境がある。オンライン会議に支障が出ている。
19. 北神区役所に「しょくしん」のATMを設置してほしい。
20. 会計年度職員、派遣職員が増え、正規職員でないとできない業務もあり（特に判断を伴う仕事）、正規職員一人が抱える負担は重くなっている。休暇を取るのもフレックス勤務を取得するのも、窓口業務を抱える職場では難しいので、改善を行うこと。（北神）
21. 病気休職等により、職員が不足している職場では、他の職員の負担が大きくなっており、改善を行うこと。
22. 電話業務を17時15分以降はつながらない体制にできないか検討を求める。（17時15分以降の電話については、夜間対応としてほしい）。
23. 人事異動において「長期在職者」の扱いが一律で、職場では疑問の声が出されている。「単にマニュアルの引継ぎだけでは、職場が回らない」という声がある。委託化やベテラン職員の減少により知識や技術の継承が難しくなっている弊害についても認識してほしい。また、係の半分が一度に異動するという事態が継続して起こり、特定の人に負担がかかったり、新たに配属された人に十分な引継ぎ、継承できないなどの弊害も生じている。
24. 課長・係長向けにESG朝活セミナーが開催されているが、iphone・ipadでの閲覧となっている。職場に配置されているipadは台数が少ないため、事務処理用PCもしくは個人のスマホで閲覧できるよう改善を希望する。（北神）